

家庭学習の手引き（保護者の皆さまへ）

光洋中学校区では、子どもたちの学力向上に取り組んでいます。より成果をあげるためには、学校での学習に加え、家庭での学習の習慣化が大切になります。保護者の皆さまのお力添えをいただきながら、子どもたちに確かな学力を育てていきたいと思っております。ご協力をお願いします。

【家庭学習の目的は？】

① 学習の習慣化

学年が進むにつれて高度になる学習内容を確実に身に付けるためには、低学年のうちから毎日でも机に向かう習慣をつけることが大切です。

② 学習したことの定着・習熟

「計算」や「漢字」、「音読」などを確実に身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。また「もっと早く正確にできるようになりたい」という習熟の意識や「もっと調べてみたい」といった意欲も、家庭学習への取組でより育まれることが期待できます。

③ 自分で学ぼうとする意欲の育成

学校で学んだことをきっかけに、「できた」「楽しかった」という思いを子どもたちは抱きます。家庭学習に取り組むことで、そういう「学ぶ喜び」がより蓄積され、次への学びの意欲につながります。

【時間の目安は？】

個人差はありますが、下記の時間を目標に！

《1年生》 90分以上

《2年生》 100分以上

《3年生》 110分以上

上の時間は目安です。定期テストの取組や受験勉強が入ると時間が増えることが予想されますが、自分に合った時間を決めさせるとよいでしょう。また、学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間と量を自分で決めてできるようにさせていきたいものです。

【ご家庭では次のようなかわりを】

生活習慣・食習慣 → 規則正しい生活で、生活リズムを整えましょう。

- ◆起床の目安： 1時間目開始の2時間前
- ◆就寝の目安： 7時間の睡眠時間を確保できる時間に就寝する
- ◆朝ごはん： 脳の働きを活発にするので、バランスのよい食事を

学習しやすい環境づくり

- 家庭学習に取り組む時間を決めましょう
- 学習する場所（机など）を片付けてから始めましょう
- テレビや携帯電話、ゲーム機の電源を消して、静かな環境を確保しましょう

子どもたちの頑張りを認めて！ほめて！励まして！

家庭学習の手引き（1～3年生）

新しい知識や技能を身につけて、自分の力を伸ばす。これが学習本
の目標です。しかし、授業では理解していても、家に帰ったら忘れて
しまった…では、本当の力はつきません。そのために「家庭学習」が
必要になるのです。自分の力を伸ばすためにも、学習内容の定着を
図るためにも、家庭学習にしっかり取り組みたいものです。

【1. こんな力を身につけよう！】

学習の目標なる項目を箇条書きに！

《長・中・短期に分けた計画を立てよう》

- 例) ○長期目標：将来は△△になりたい。そのために▽▽高校、
▽▽大学を目指す。
- 中期目標：▽▽高校入学のために、苦手な理科と英語を
重点的に学習する。
- 短期目標：今月（今週）中に英単語50個を完全マスター
する。理科の問題集の第2章をすべてやる。

《具体的な目標には…》

- ・教科書をよく読み、書かれている内容や説明が理解できる。
- ・授業で使うワークや問題集を解き、答え合わせまでできる。
- ・授業で学習した内容を、工夫してノートにまとめるられる。
- ・上記ができれば、さらに難易度の高い
問題に取り組める。

【2. 家庭学習をするときには…】

- ・家庭学習用のノートを、1教科1冊準備しよう。（授業のノートとは別に）
- ・授業で使うワークや問題集以外の教材（自分にあったもの）を準備しよう。
- ・机の周りは整理整頓し、テレビや携帯電話、パソコン、ゲーム機の電源は切ろう。
- ・だらだらとやらずに、短時間で集中した学習を繰り返そう。
- ・学習時間は個人差があるが、中1で90分、中2で100分、中3で110分以
上を目標に取り組もう。

【3. こんな学習をしてみよう！】

《国語》

- ・教科書の新出漢字は、しっかり読んで書けるように練習しよう。
- ・教科書以外の文章をすらすら読んで、内容が理解できるようにしよう。
- ・簡単な作文を一定時間で書けるようにしよう。

《数学》

- ・教科書で学習した基本問題を、スムーズに解けるように繰り返し練習し
よう。
- ・解いた問題は自分で答え合わせをして、間違ったらわかるまで解き直し
をしよう。

《社会》

- ・教科書の重要語句（太字）について、しっかり理解しよう。
- ・授業のノートを参考に、自分なりに大事なポイントをまとめたノートを作
ろう。
- ・事物の関係を、図や年表などを用いて整理してみよう。

《理科》

- ・教科書の重要語句（太字）について、しっかり理解しよう。
- ・授業のノートを参考に、自分なりに大事なポイントをまとめたノートを作
ろう。
- ・ポイントを、図や表を用いて視覚に訴えながら整理してみよう。

《英語》

- ・教科書の新出単語や基本文を、しっかり読んで書けるように練習しよう。
（できるだけ、声に出して練習する）
- ・基本文を参考に、短作文を書けるようにしよう。

《全ての教科に共通して》

- ・授業で学習した内容をその日のうちに復習し、ポイントを
まとめよう。
- ・わからない内容については、なるべく時間をおかずに解決
しよう。
- ・練習問題は、理解できるまで繰り返しやろう。
- ・過去のテストで未定着だった問題は、再度復習
しよう。
- ・定期テストにむけて、計画的に学習を進めよう。